

- 1 . 平成30年3月期第2四半期連結決算概要
- 2 . 平成30年3月期 業績予想
- 3 . 第2四半期トピックス（参考）

業績数値に係る在外子会社（WAKOU USA INC）の換算レートは1ドル＝120円で計算しております。

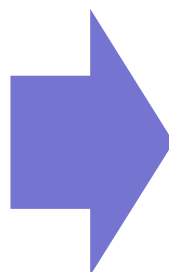
- 1 . 平成30年3月期第2四半期連結決算概要
- 2 . 平成30年3月期 業績予想
- 3 . 第2四半期トピックス（参考）

(単位：千円)	平成29年3月期第2Q		平成30年3月期第2Q				
	実績	予想	実績	前年同期増減比較		予想同期増減比較	
				金額	増減率	金額	増減率
売上高	3,862,752	4,127,000	4,370,092	507,340	13.1%	243,092	5.9%
売上原価	3,060,989	3,241,000	3,385,731	324,742	10.6%	144,731	4.5%
売上総利益	801,762	886,000	984,360	182,598	22.8%	98,360	11.1%
販売管理費	833,505	830,000	936,242	102,736	12.3%	106,242	12.8%
営業利益	△31,742	55,000	48,118	79,861	-	△6,881	△12.5%
経常利益	△41,114	44,000	42,714	83,829	-	△1,285	△2.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	80,084	6,000	8,312	71,772	-	2,312	-
EPS	97.81円	-	10.15円	87.66円	-	-	-
総資産	6,649,729	-	7,489,395	839,666	12.6%	-	-
純資産	3,871,825	-	4,001,383	129,557	3.3%	-	-

EPSについては株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。

通期予想進捗率

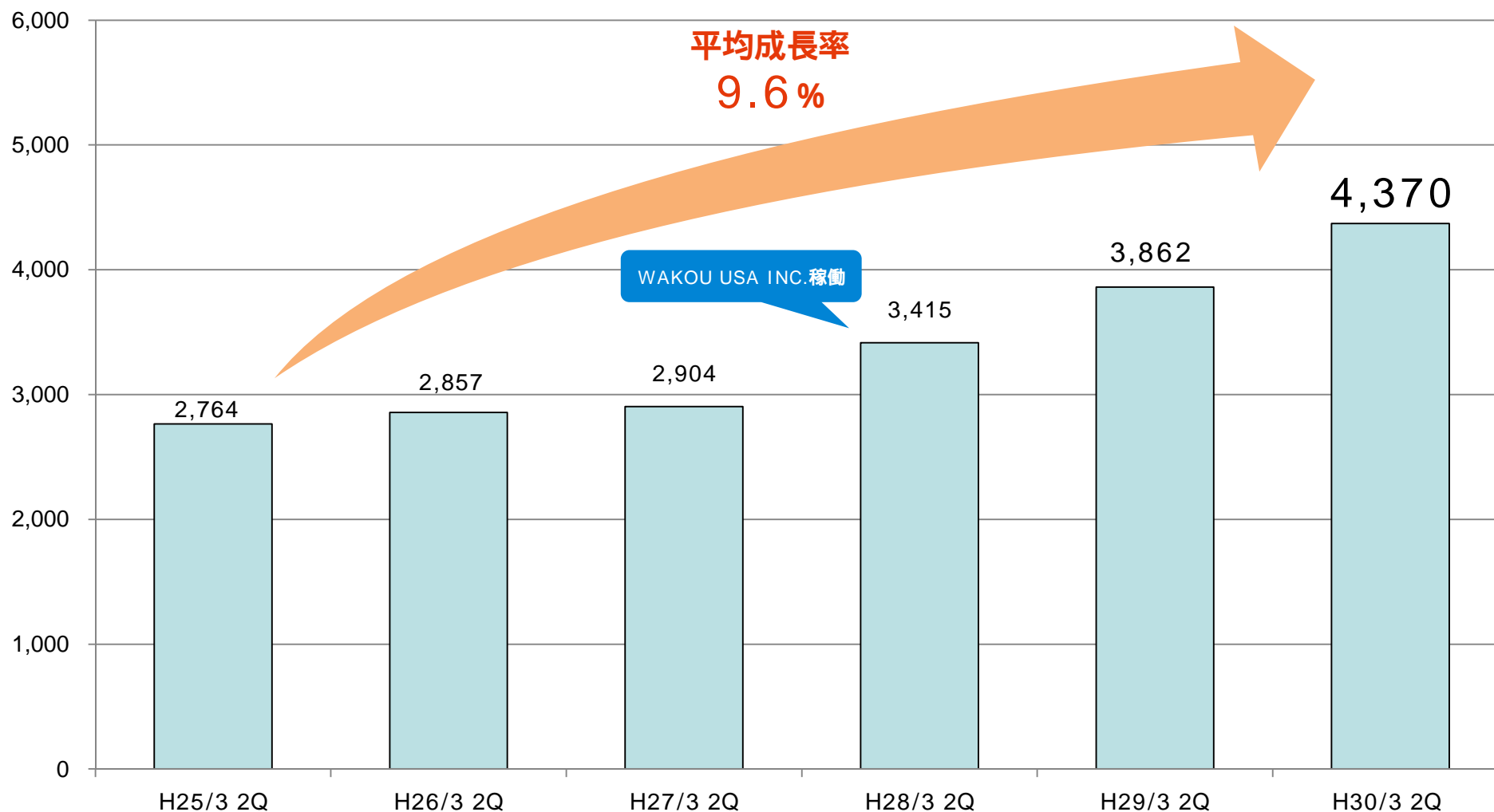
売上高	51.3%
営業利益	38.2%
経常利益	41.5%



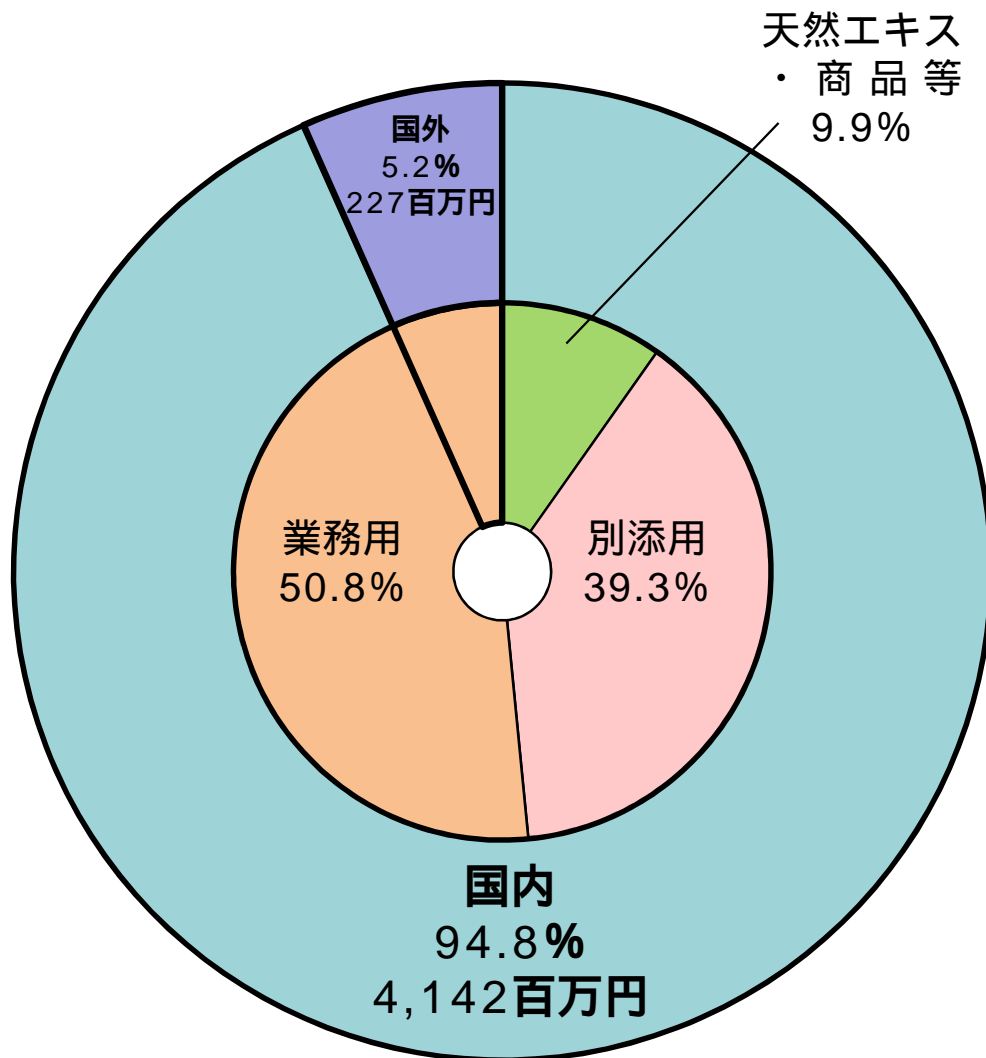
【好調理由】
 外食・中食向け業務用調味料市場の開拓
 生産性向上による売上総利益率の改善
 WAKOU USA INC.の本格稼働

プレゼンルームを活用した提案型営業の強化により外食・中食市場向け業務用調味料の販売が好調

(単位：百万円)



連結売上高は別添用・業務用製品が牽引（前年同期比：別添用13.2%増、業務用8.6%増）



別添用



主に内食業界向け（袋めん付属スープ等）、中食業界向け（コンビニエンスストア向け調理麺付属スープ・めんつゆ等）で使用される形態です。

本格的な専門店の味をご家庭にお届けすることをモットーに味作りをしております。

業務用



主に中食業界向け（スーパーマーケットの惣菜バックヤード等）、外食業界向け（ラーメン店、レストラン、居酒屋等）で業務用として使用される形態です。

本格的な専門店の味の再現や仕込み作業軽減等、数多くの企業・繁盛店様のご要望やニーズに沿った製品作りを心掛けております。

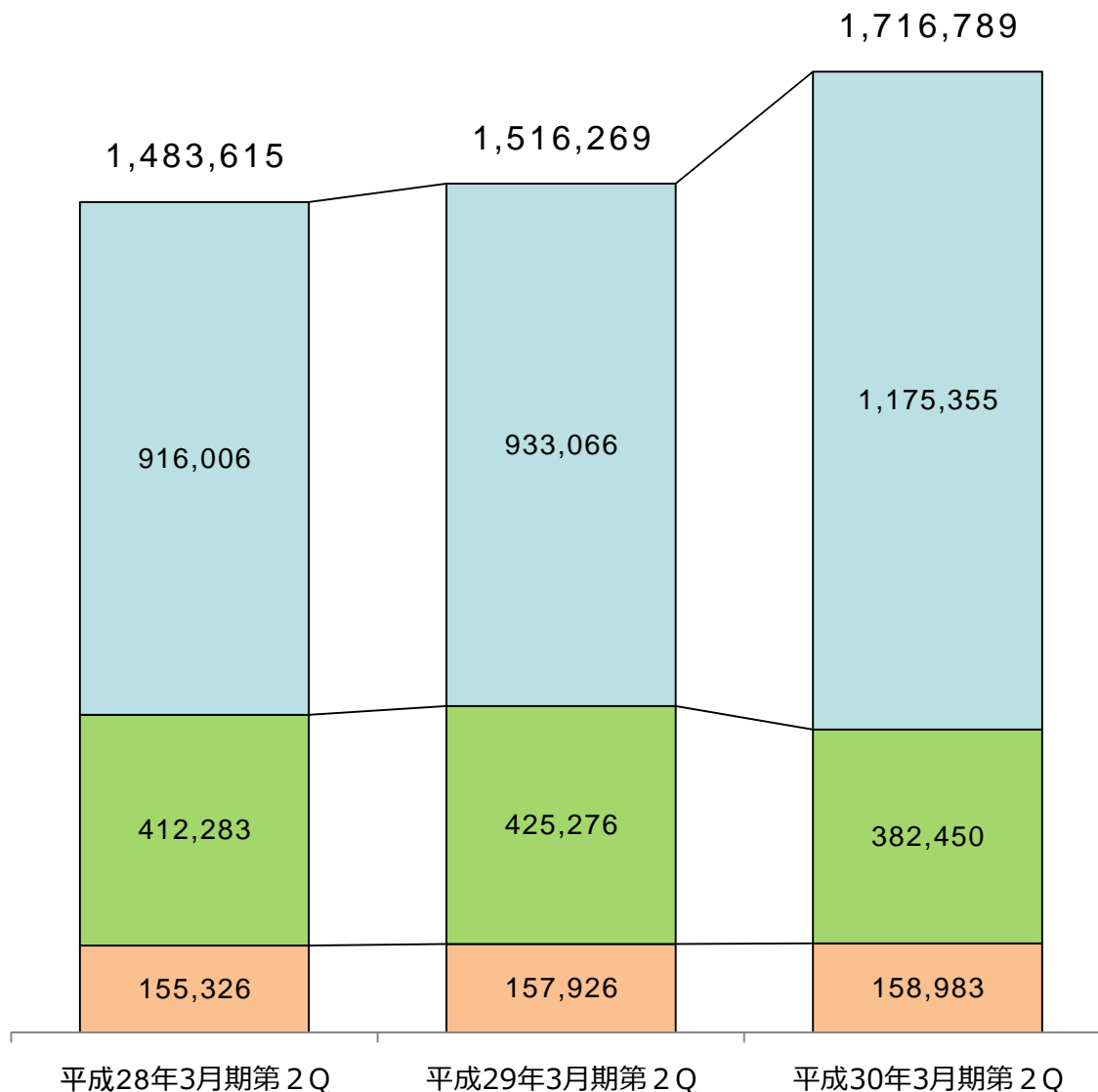
天然エキス・商品等



北海道の新鮮素材を独自の製造技術により精製した天然エキスは、原料として数多くの製品に取り入れられている他、外販もしております。

また、商品（転売品）等もこの項目に含めて表示しております。

(単位：千円)



別添用ラーメン 増減要因

- 【外食用 ↗】
 - ・坦々麺、鶏塩、魚介系ラーメンスープ（鮭、鮪、あさり等）
- 【内食用 ↗】
 - ・チルド冷麺スープ、タンメンスープ、海老塩ラーメンスープ、油そばのタレ

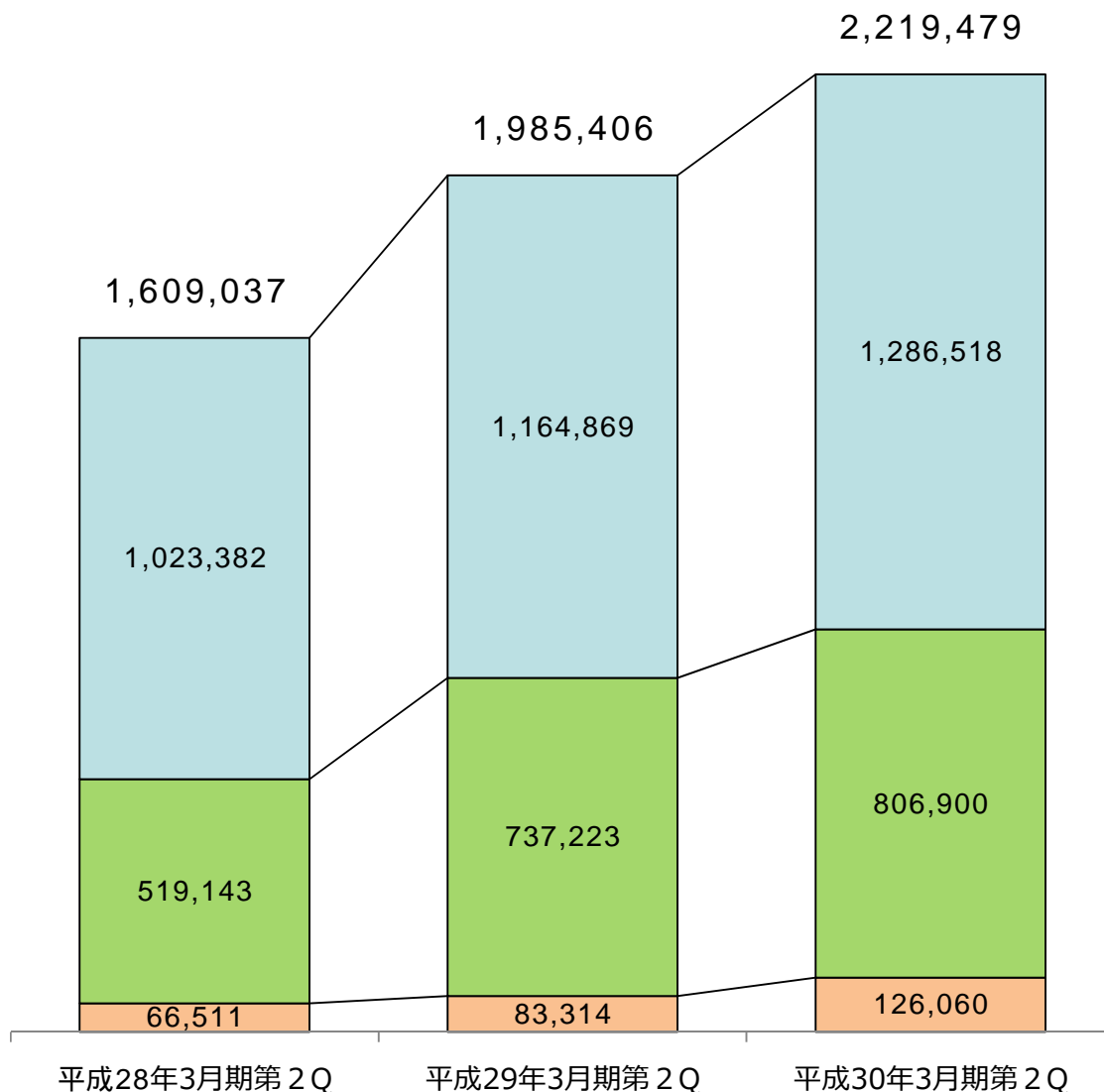
別添用その他 増減要因

- 【中食用 ↗】
 - ・おでんつゆ、スープ類、てん井のタレ
- 【外食用 ↘】
 - ・鍋用パイタンスープ、醤油だれ
- 【内食用 ↘】
 - ・パスタソース（海老、たらこ等）、オリーブ油

別添用めんつゆ 増減要因

- 【中食用 ↗】
 - ・冷やしうどんのつゆ

(単位：千円)



業務用ラーメン 増減要因

- 【外食用 ↗】
 - ・豚骨、味噌ラーメンスープ、魚介系ラーメンスープ（海老、煮干し等、はまぐり）
- 【中食用 ↗】
 - ・味噌・塩ラーメン、坦々麺スープ

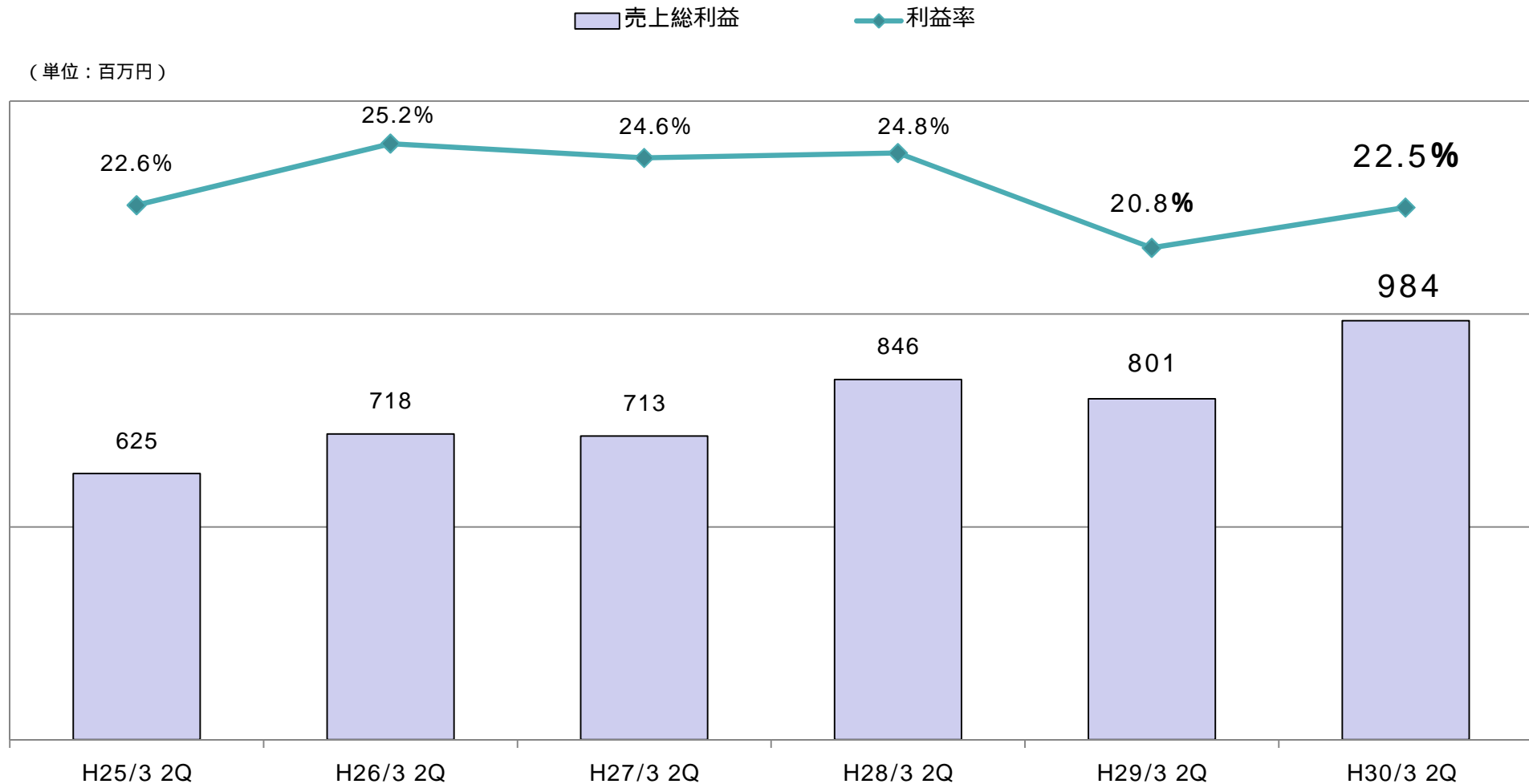
業務用その他 増減要因

- 【外食用 ↗】
 - ・はまぐリエキス、海鮮系パスタソース、鍋つゆ（こく旨醤油、牛・鶏だし等）
- 【中食用 ↗】
 - ・カレーソース、あんかけ焼きそばのタレ

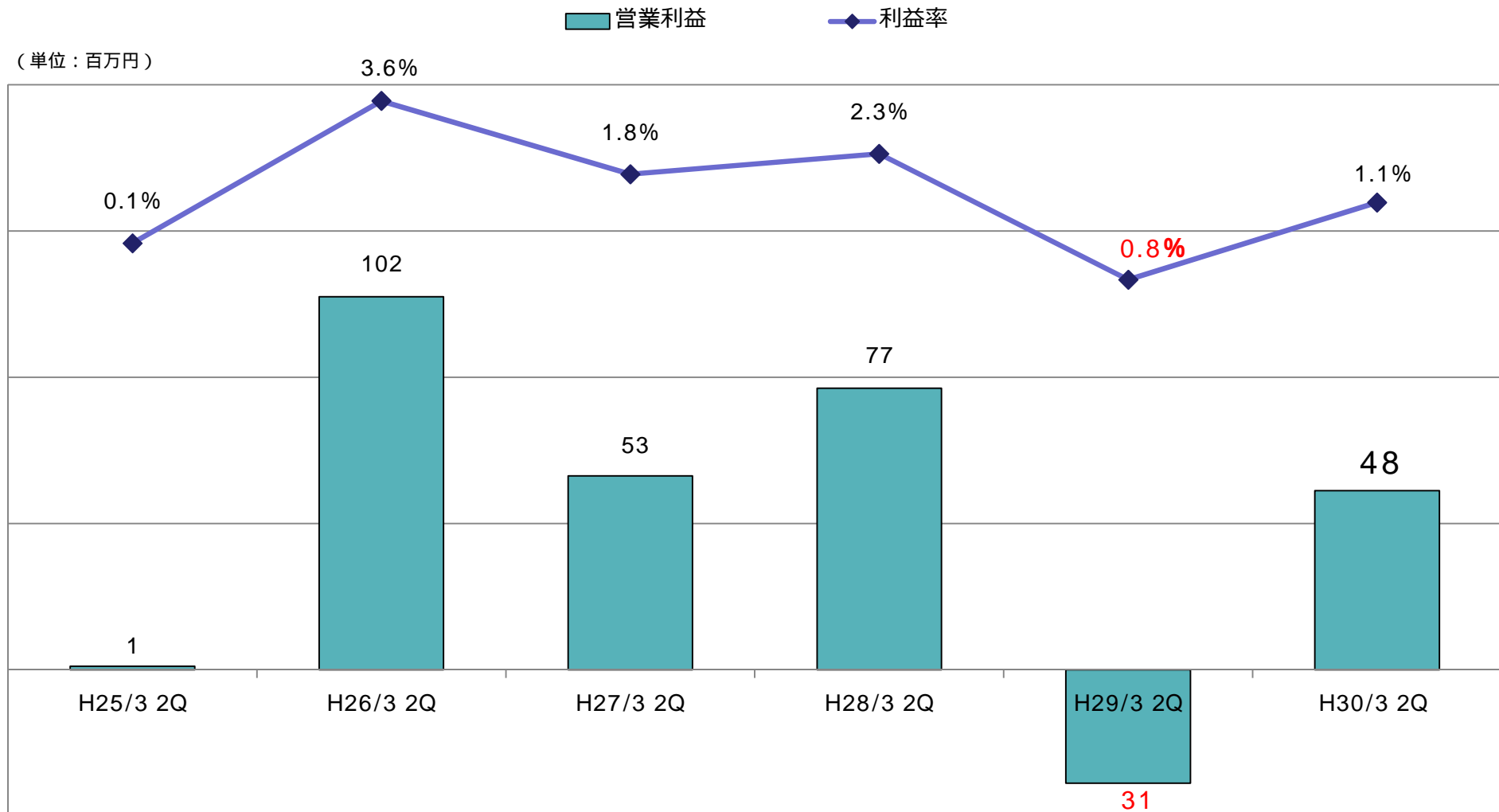
業務用畜肉・水産 増減要因

- 【外食用 ↗】
 - ・海鮮丼のタレ、焼肉・焼き鳥のタレ
- 【中食用 ↗】
 - ・チャーシュー調味液、丼のタレ

最新製造設備の導入、売上高増加に伴う工場稼働率の上昇により利益率が改善。



営業利益は売上高の増加に伴い黒字回復。営業利益率も回復傾向



主な増益・減益項目 (単位：千円)	平成29年3月期第2Q	平成30年3月期第2Q	前年同期増減比較	
	実績	実績	金額	増減率
売上総利益	801,762	984,360	182,598	22.8%
運送・保管費	206,580	258,688	52,108	25.2%
人件費	262,354	288,046	25,692	9.8%
その他販売管理費	364,570	389,507	24,936	6.8%
営業利益	△31,742	48,118	79,861	-

増益要因

売上総利益 : 外食・中食市場向け調味料の販売が好調。売上高507百万円増加
: 最新製造設備の導入、人材育成の強化により利益率が改善

減益要因

運送・保管費 : 売上増加に伴う運送費の増加
: 売上増加に伴う外部保管料の増加

人件費 : 拡販活動に伴う増員により人件費が増加

その他販売管理費 : 主に旅費交通費、諸手数料、福利厚生費等が増加

対策

原価改善プロジェクト

- ・生産体制の最適化
- ・運送方法の見直し
- ・外部保管方法の見直し

【営業CF】

主な増減要因（前年同期増減比較）

- ・ 四半期純利益の増加 +88百万円
- ・ 仕入等に係る支出の減少 +313百万円

【投資CF】

主な増減要因（前年同期増減比較）

- ・ 有形固定資産の取得 38百万円
- ・ 無形固定資産の取得 41百万円

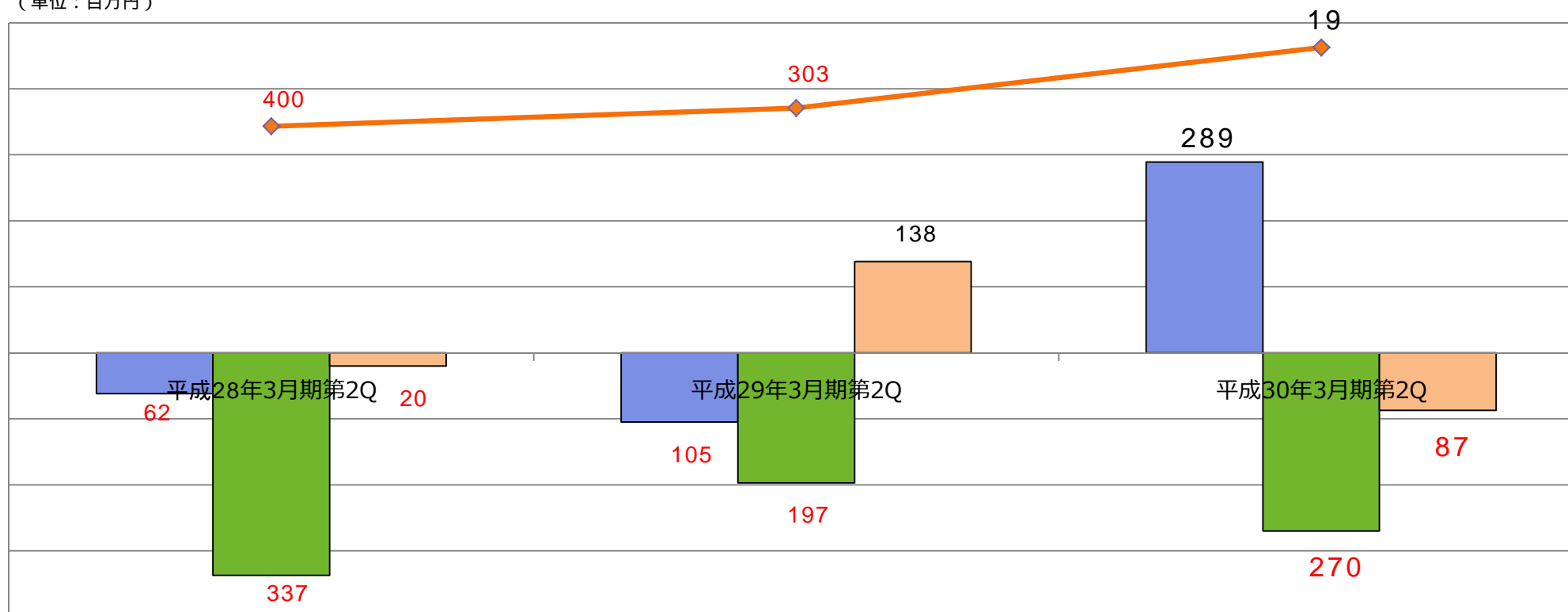
【財務CF】

主な増減要因（前年同期増減比較）

- ・ 借入れによる収入額の減少 488百万円
- ・ 借入金の返済額減少 +262百万円

■ 営業CF ■ 投資CF ■ 財務CF ◆ FCF

（単位：百万円）



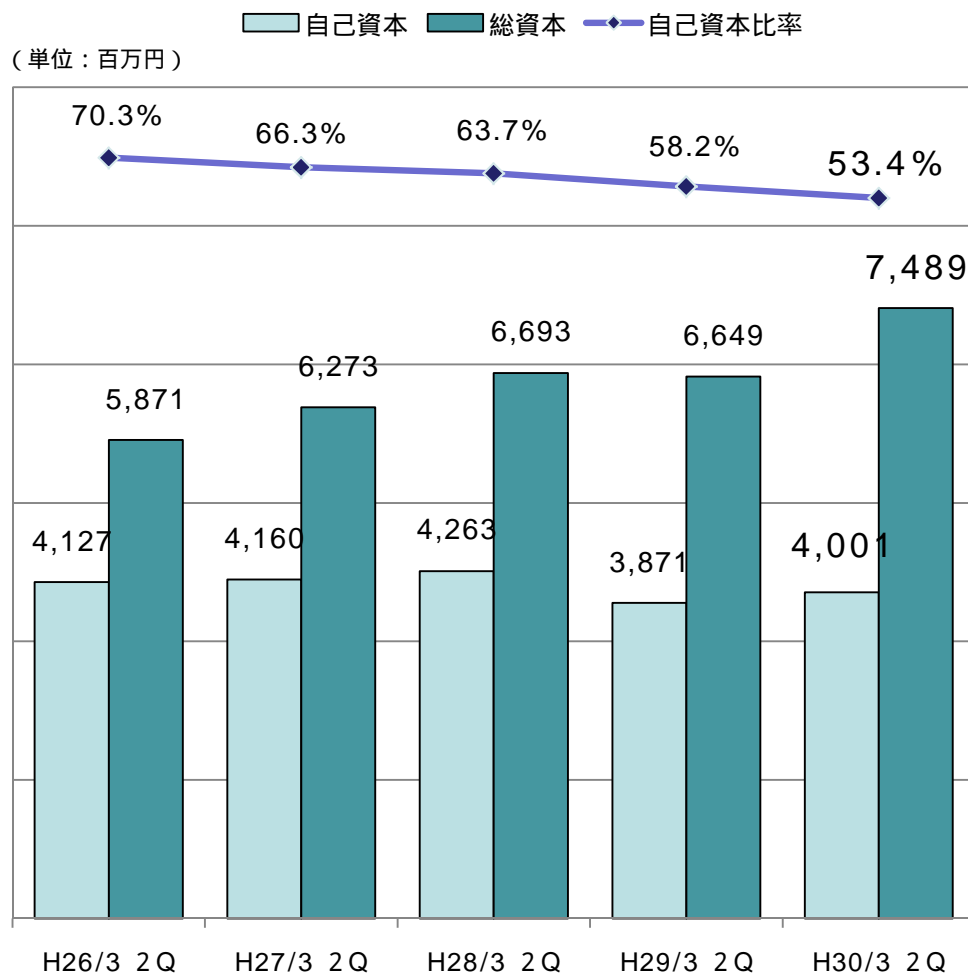
(単位：千円)	平成29年3月期第2Q	平成30年3月期第2Q	前年同期増減比較	
	実績	実績	金額	増減率
設備投資額	169,322	248,953	79,631	47.0%
減価償却費	202,052	203,137	1,084	0.5%
研究開発費	84,764	93,284	8,520	10.1%
フリーキャッシュフロー	303,408	19,511	322,920	-
有利子負債	1,399,966	1,634,262	234,296	16.7%
1株あたり配当金	5円	5円	-	-
ROE	2.0%	0.2%	-	-

ROEについては株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。

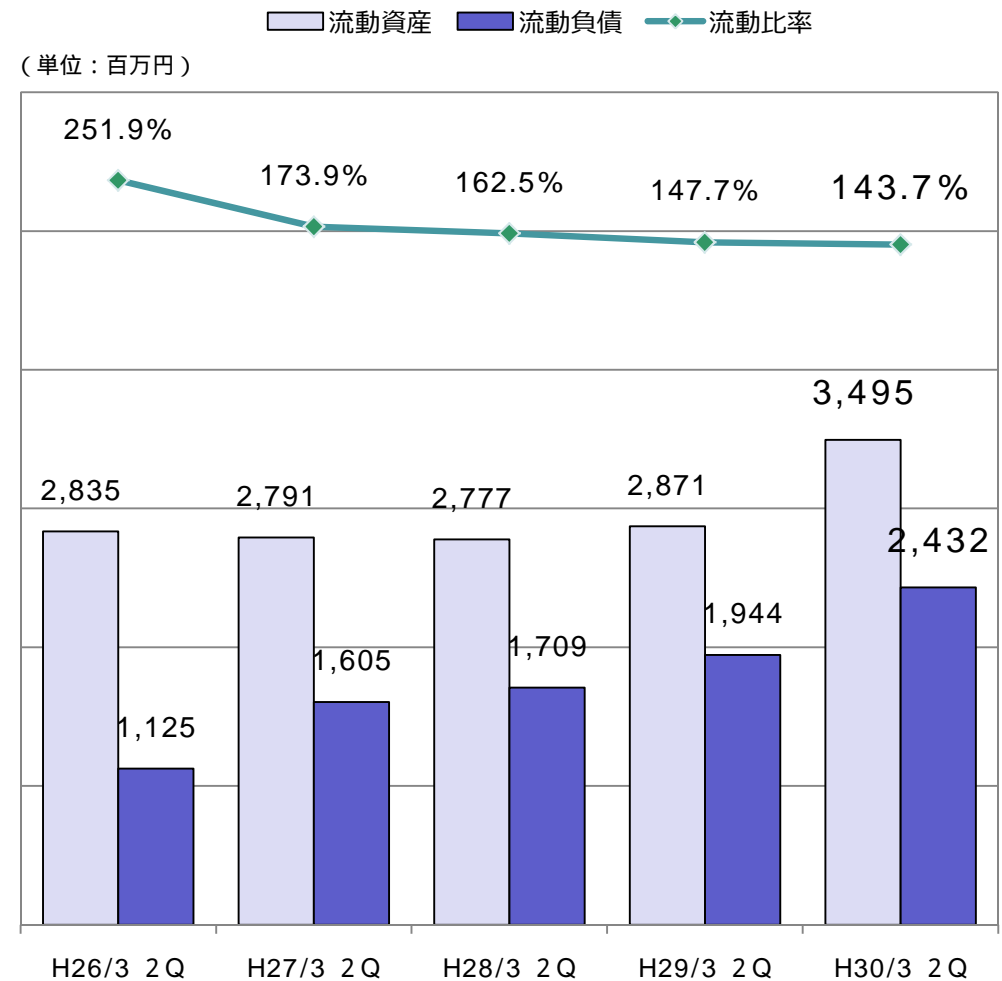
- ・ 主な設備投資**
 - ： 製造設備の導入 124,973千円
 - ： 井水設備の工事 60,000千円
- ・ 外食・中食向け調味料市場の開拓、拡大に伴い研究開発費が増加。
- ・ フリーキャッシュフローは先行投資による減少傾向が続いたが売上増加に伴う営業CFの増加により改善。
- ・ 設備投資（最新製造設備の導入等）に伴う資金調達により有利子負債が増加。

先行投資に係る借入金が増加傾向にあるが、安定した財務基盤を継続しております。

自己資本比率の推移



流動比率の推移



- 1 . 平成30年3月期第2四半期連結決算概要
- 2 . 平成30年3月期 業績予想
- 3 . 第2四半期トピックス（参考）

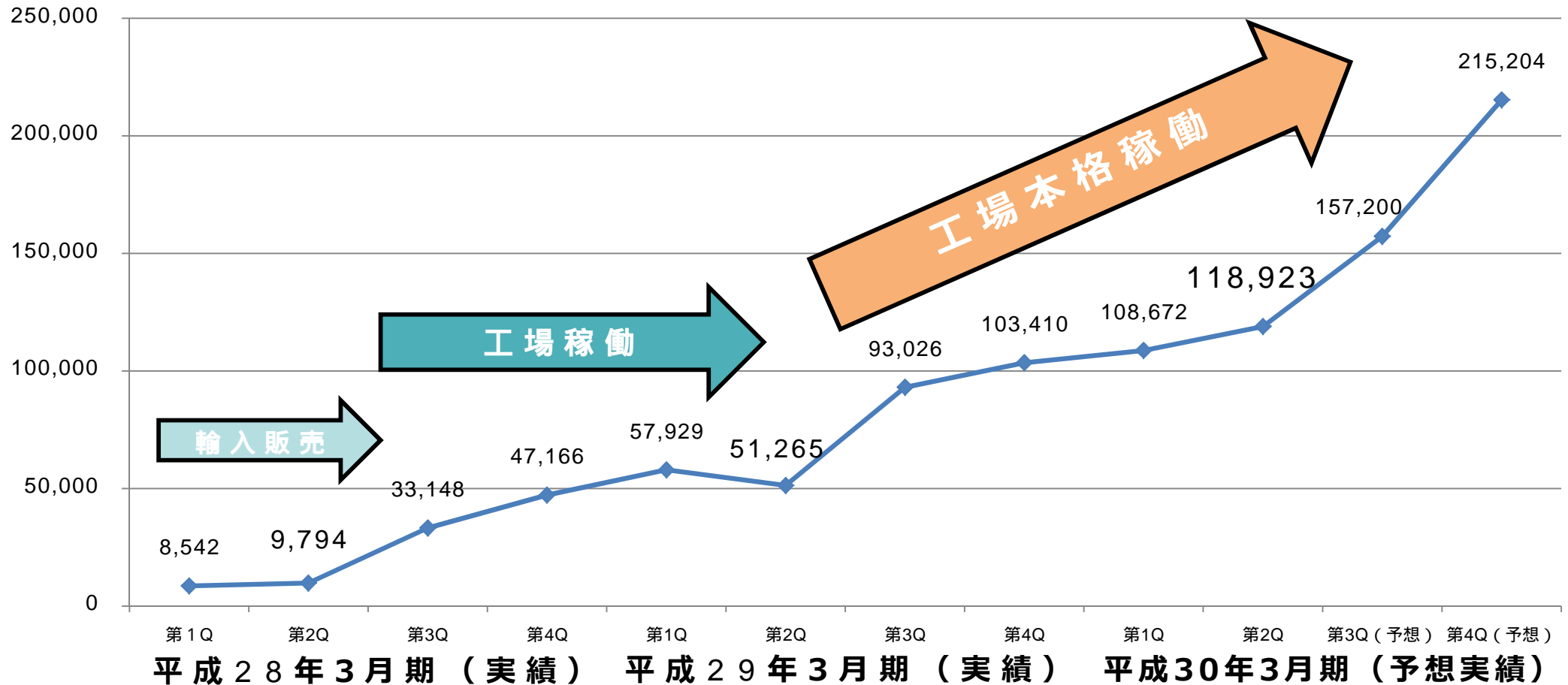
(単位：百万円)	平成30年3月期第2Q		平成30年3月期（当初予想）		
	実績	通期予想 進捗率	上期	下期	通期
売上高	4,370	51.3%	4,127	4,388	8,515
原価	3,385	50.7%	3,241	3,440	6,681
売上総利益	984	53.7%	886	948	1,834
販管費	936	54.8%	830	878	1,708
営業利益	48	38.2%	55	71	126
経常利益	42	41.5%	44	59	103
親会社株主に帰属する 当期純利益	8	-	6	5	1
1株当たり配当（円）	-	-	-	-	50円

1株当たり配当については株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。

下期の主な取組み

- ・大阪支店にプレゼンルームを新設予定。プレゼンルームを活用した提案型営業を強化
- ・都市圏の更なる顧客拡大・市場開拓を強化
- ・日清オイリオグループ(株)との連携強化
- ・原価改善プロジェクトの強化により高収益体制の確立

（単位：千円）



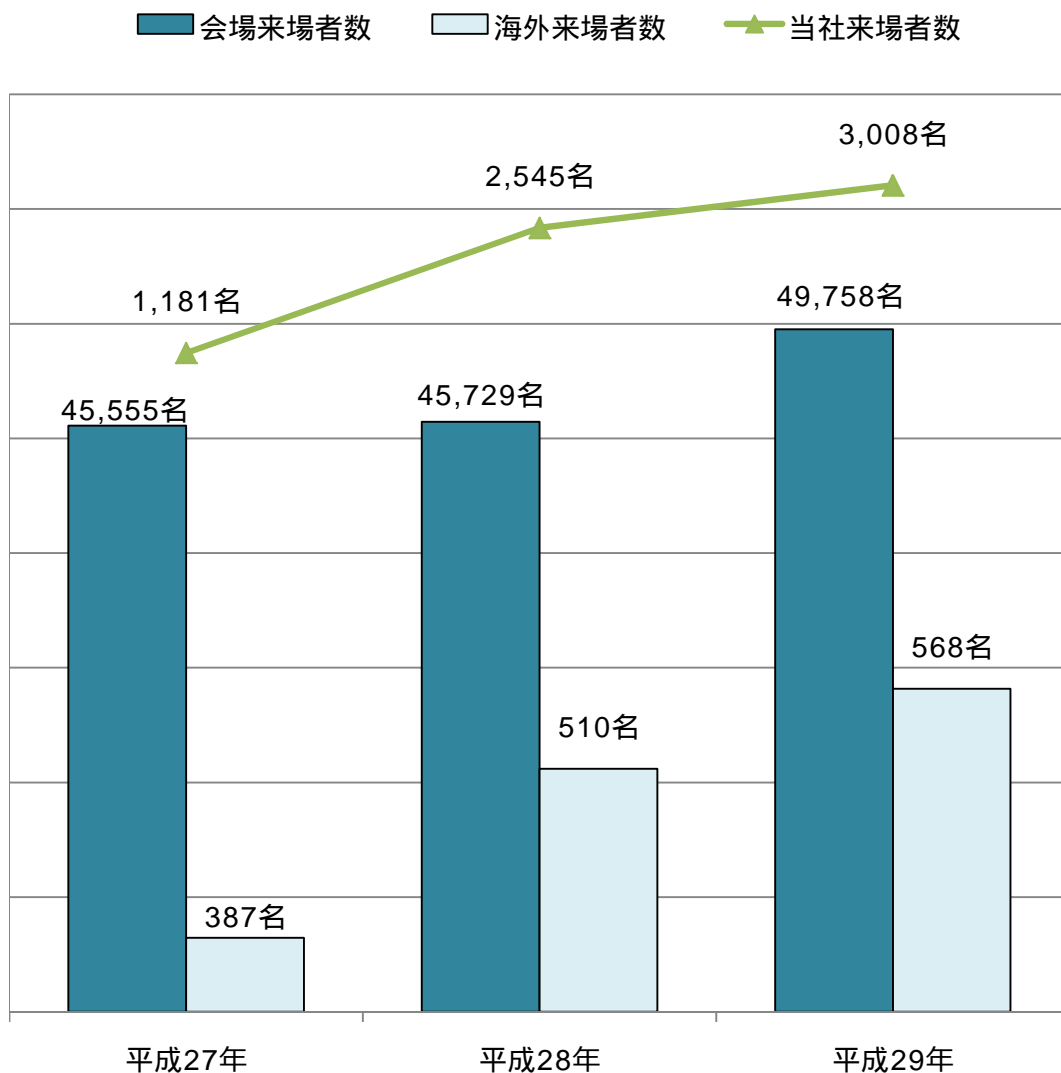
下期の主な取組み

- ・ ラーメン産業展 (Ramen Expo USA) へ出展し、更なる顧客拡大・市場開拓を強化
- ・ USDA 認証製品を活用した差別化戦略

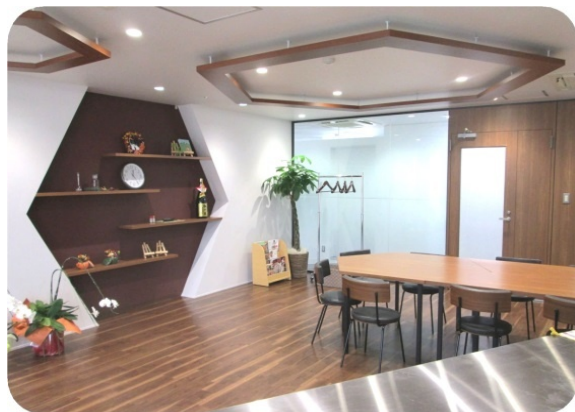
- 1 . 平成30年3月期第2四半期連結決算概要
- 2 . 平成30年3月期 業績予想
- 3 . 第2四半期トピックス（参考）

お客様から大変ご好評を頂いているイベントとなっており、大盛況のうち、無事に終了致しました。

平成29年8月29日（火）～8月31日（木） 東京ビッグサイトにて開催



お客様を招き、試食を交えながら味の提案をしております。



東京支店プレゼンルーム

大阪支店プレゼンルーム

札幌支店プレゼンルーム

全国4つの営業拠点、3つの“プライベートキッチン”を活かした提案型営業を強化。

本資料は情報提供を目的としたものであり、特定の商品の募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。投資を行う際は、投資家様ご自身の判断と責任で投資なさるようお願い致します。当社の株式のご購入にあたっては各証券会社にお問い合わせください。

本資料の内容には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、このような記述は将来の業績を保証するものではありません。

本資料の内容は、現時点で入手可能な情報や、合理的と判断した一定の前提に基づいて策定した数値であり、潜在的风险や不確実性などを含んでいることから、その達成や将来の業績を保証するものではありません。

また、予告なしに内容が変更または廃止される場合がございますので、あらかじめご了承ください。

本資料に関するお問合せ



IR担当：武田、藁谷

TEL：0134-62-0505

E-mail：IR@wakoushokuhin.co.jp